

2022 年度大学院博士課程後期課程 国内研究活動促進研究費募集要項

下記のとおり、2022 年度立命館大学大学院博士課程後期課程国内研究活動促進研究費の募集を行う。

1. 目的

本研究費は、本大学院に在学する優秀な学生の、国内の本学以外の大学もしくは研究機関等での積極的な研究活動を奨励することを目的とする。

2. 申請資格

本学大学院博士課程後期課程、一貫制博士課程 3 回生以上または 4 年制博士課程の正規課程に在学する大学院学生で、補助対象期間（下記 3 項参照）内に国内の本学以外の大学もしくは研究機関等において、移動日および休日を除いて連続して 5 日以上の研究活動を実施する者。

（ここでいう「在学」とは、学籍状態が「在学」または「留学」の者を指す。）

【以下の者は対象外とする】

①在籍期間中に 3 回以上採択されたことがある者（ただし、薬学研究科は 4 回以上）

②2022 年度に日本学術振興会特別研究員の身分を有する者

③その他併給禁止規定のある奨学金・奨励金等を受給している者

※同一年度においては、以下の(A)～(D)の 4 つの研究費よりいずれか 1 つの研究費のみを受給することができる。2022 年度において既に(B)～(D)の研究費を受給している場合は本補助制度に申請することはできない。

「(A) 大学院博士課程後期課程国内研究活動促進研究費」

「(B) 大学院博士課程後期課程国際的研究活動促進研究費」

「(C) 大学院博士課程後期課程インターンシップ奨学金」

「(D) 大学院博士課程後期課程国外共同研究奨学金」

※本学以外の機関から奨学金・奨励金等の支給を受けている場合は、各奨学金事務局で確認すること。

3. 研究活動

下記補助対象期間内に国内の本学以外の大学もしくは研究機関等において実施する連続 5 日以上の研究活動を補助対象とする。ただし、移動日および休日を除くこと。

【補助対象期間】

春学期募集の補助対象期間	2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日
秋学期募集の補助対象期間	2022 年 9 月 26 日～2023 年 3 月 31 日

※休学期間中は対象期間に含めない。

※採択通知される前に行った研究活動については、補助対象期間内の活動に限り研究活動期間に含める。

【対象外となる研究活動】

- ・自己研鑽・啓発のみを目的としたもの（語学研修等）や、有給の研究活動（有給のインターンシップやアルバイト等を含むもの等）
- ・学会の用務（学会参加、発表含む）について学会奨学金と本補助制度の重複受給はできない。国内学会の用務の場合は学会奨学金を申請すること。

4. 補助の対象となる金額・支給方法

補助の対象

旅費：資料収集、各種調査、研究の打合せ等のために出張するための経費（交通費・宿泊費）
その他当該研究を遂行するための経費

：印刷費、図書資料費、文具などの消耗品購入、申請記載の当該年度における研究活動に要する費用

※飲食費の執行は不可とする。

研究助成金額

研究助成金は日数によって金額が異なる。

以下の金額を上限に、提出された研究費支払報告書（様式3）に基づいて実費を支給する。

国内研究活動期間	金額
A：5日以上20日まで	5万円
B：21日以上	10万円

支給方法

研究助成金：「研究費支払報告書（様式3）」提出後、約1ヶ月を目途に採択者本人の銀行口座に一括して振り込む。

※受給対象となった研究活動終了後1ヶ月以内（3月に研究活動を行う場合は、終了後1週間以内）に「研究費支払報告書（様式3）」を提出すること。

※「研究費支払報告書（様式3）」には領収書（原本/署名または押印要）を貼付すること。
期日までに「研究費支払報告書（様式3）」が提出されない場合は、研究助成金を支給しない。

5. 申請期間

春学期募集：2022年5月16日（月）～5月20日（金）（日本時間17:00締切）

秋学期募集：2022年10月24日（月）～10月28日（金）（日本時間17:00締切）

6. 採択枠について

春学期20件以内、秋学期10件

※春学期募集で採択された者が20件に満たない場合、秋学期募集では、その分を上乗せして募集する。

7. 申請方法

「8. 申請にあたっての注意点」をよく読んだうえで、下記の【提出書類】1～7の順にPDFデータとして1つのファイルにまとめ、manaba+Rにログインし、「大学院キャリアパス推進室」より提出すること。

※受付後に不備が発覚した場合は、書面審査にて減点対象とする。不備内容によっては審査対象とせず、不採択とする。

※やむを得ない事情で、郵送での提出を希望する場合は、事前に大学院課（衣笠）までメール連絡をした上で、記入漏れのないように十分留意のうえ、提出期限内に必着で送付すること（配達記録が残る書留郵便等を利用すること）。

【申請書郵送先】

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学教学部大学院課（衣笠）宛

※「国内研究活動促進研究費申請書在中」と朱書きの上、郵送すること。

提出書類	
1	2022 年度国内研究活動促進研究費申請受付チェック票 ※全書類が揃っているか要確認
2	博士課程後期課程奨学金/研究費申請書
3	研究業績報告書
4	2022 年度 大学院博士課程後期課程 国内研究活動促進研究費申請書(様式 1)
5	受入機関における研究協力者との折衝状況が証明できる書類、訪問先の名称・住所等記載の書類
6	経費執行計画書(様式 2) 研究活動期間に応じて支給される研究助成金の金額以上の経費執行計画を記載して下さい。
7	「立命館大学における人を対象とする研究倫理審査」に関するチェックシート

※上記 2・3 の出力方法：

下記 URL に RainbowID でログインし、「研究業績の編集ページ」に進み「各種奨学金申請書作成 (D のみ)」「研究業績報告書」からファイル出力する。

【立命館大学若手研究者学術・キャリア情報検索システム (Ri-SEARCH)】

<https://gyoseki-web.ritsumei.ac.jp/ritgsap/P300>

※上記 4 の出力方法：下記にアクセスし、申請書をダウンロードする。

【申請書】http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/fellow/doctor/article.html/?id=40

※上記 5 の書類について

研究内容に応じて、下表の通り、書類を提出する。

国内研究内容	添付資料
A：指導者・現地研究協力者のもと研究活動を行う場合	訪問先受入機関における研究協力者との折衝状況が証明できる書類(推薦書・受入承諾書・電子メール等交信記録) ※研究協力者に一方的に協力要請をしているだけのメール等は不可
B：資料収集・閲覧等	訪問先の名称・住所がわかる資料(ウェブサイト等)、紹介状等
C：フィールドワーク、イベント参加等	フィールドワーク、イベント内容がわかる資料(パンフレット等)

申請書作成時の注意事項：

- ・文字フォントは必ず 10.5 ポイントで作成すること。
- ・様式改変不可。必ず各項目とも定められた枠内に収めて記載すること。申請書に枠の改変がある場合は受付けない。受付けた場合においても審査対象外となるため、十分に注意すること。
- ・添付資料が複数ある場合は、何回目の移動のどの活動内容を証明する分なのか分かるよう番号付けをすること。(例「#1 8 月東京美術館 資料収集分、#2 10 月〇〇大学 国立国会図書館訪問分」)。
- ・上記 A～C のそれぞれ申請する研究活動内容について、必ず添付資料がある状態にすること。

8. 申請にあたっての注意点

- ① 申請にあたって、研究指導教員の氏名・コメントを得ること。専門分野以外の教員が審査する場合があるため、専門分野が異なる方にもわかりやすい記述で申請書を作成すること。
- ② 研究倫理審査の受審について
研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策や措置を講じるのか事前に検討する必要がある(対象例：個人情報に伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた資料/試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外

の情報委員会や倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験など)。下記の倫理審査委員会での審査が必要な場合は必ず渡航前に倫理審査へ申請すること。なお、申請から審査結果が出るまでに約2ヶ月かかるため、計画的に申請すること。

(人を対象とする研究倫理審査への申請)

<http://www.ritsumei.ac.jp/research/approach/ethics/mankind/>

(人を対象とする医学系研究倫理審査への申請)

<http://www.ritsumei.ac.jp/research/approach/ethics/iryo/>

(動物を対象とする研究倫理)

<http://www.ritsumei.ac.jp/research/approach/ethics/animal/>

③ 連続5日以上の研究活動について

訪問先への移動日および休日などは5日以上の日数に含めない。但し、休日であっても、研究活動を行った場合は日数に含める。又、5日以上の日数が2つ以上連続して行われる場合は、移動日を除き、日数を合算することが出来る。

④ 休学中の申請について

春学期申請時に休学中であっても秋学期復学予定である場合は申請を認める。ただし、本研究費の対象となる研究活動は「本年度内の在学中に発生する研究活動」となるため、休学期間中または休学期間にまたがる研究活動は本研究費の対象外となる。申請の際に、研究活動予定日数を在学期間内に設定するよう注意すること。

⑤ 申請中～採択期間中において、学籍状態が変更になった、または変更を予定している場合は、採択の取消、戻入が必要になる可能性があるため、わかり次第至急大学院課に申告すること。

9. 申請書の審査および審査基準

国内研究活動促進研究費審査委員会による書類審査を行い、採否を決定する。審査基準については下記の通りとする。なお、申請書類に不備がある場合は減点対象とする。不備内容によっては審査対象とせず、不採択とする。

① 研究計画の具体性および実現可能性

② 研究内容の独創性

③ 研究計画の準備の状況

④ (該当者のみ) 研究倫理審査の受審状況

研究倫理審査が必要な研究内容だった場合、研究倫理審査の受審状況も加味して評価する。審査を受けていない場合は、採択保留または不採択とする。

⑤ (過去受給暦のある方) 採択時の研究成果

過去に採択された時の研究成果報告について評価する。なお、研究成果報告書等の提出の不備(遅延や未提出)など採択者の義務が遵守されていない場合は、減点対象とする。

10. 年間スケジュール (予定)

2022年5月16日～5月20日	春学期募集 申請期間
2022年5月下旬～6月中旬	審査委員会による審査(春学期募集)
2022年7月上旬	採否通知 ※manaba+Rに通知する
2022年7月中旬	誓約書提出 ※期日までに提出がない場合は本研究費を支給しない
2022年10月24日～10月28日	秋学期募集 申請期間
2022年11月下旬	審査委員会による審査(秋学期募集)
2022年12月上旬	採否通知 ※manaba+Rに通知する
2022年12月中旬	誓約書提出 ※期日までに提出がない場合は本研究費を支給しない
研究活動終了後1ヶ月以内	「研究費支払報告書(様式3)」提出
報告書受理後約1ヶ月後	研究助成金振込
2023年3月17日	研究成果報告書(様式4)・ポスターをメール提出 ※17:00 締切

1 1. 問い合わせ先

E-mail : g-schol3@st.ritsumei.ac.jp

電話番号：大学院課(衣笠) 075-465-8195